

食物アレルギーへの緊急時対応 体験型出前セミナー

クリニカル・スキルスラボでは宮城県内の保育・教育施設を対象とした『食物アレルギーへの緊急時対応体験型出前セミナー』を企画しており、2024年度は32施設（保育施設14、児童館13、小学校3、中学校1、支援学校1）で開催しました。

本セミナーは、食物アレルギーに対する緊急時対応をより多くの教育施設の職員の皆様にご理解いただくことを目的に、申込のあった施設に講師が出向き実施しています。講師は東北地区小児アレルギーケア研究会に講師派遣を依頼し、小児アレルギーエデュケーターの資格を持つ看護師・管理栄養士の方々に務めていただきました。

セミナーの内容は、食物アレルギーに関する講義とエピペン®トレーナーを用いた演習、緊急時対応の動画鑑賞、デモンストレーションです。

講義では、講師が作成した資料や動画教材を使用して、食物アレルギー発症の仕組みや食物アレルギーの種類について基礎的な学習を行いました。また、緊急時対応マニュアルに沿って食物アレルギーを疑った場合の症状の観察方法や症状に応じた対処の仕方について学びました。演習では、エピペン®トレーナーを使い、エピペン®の使用方法と手順について確認しました。デモンストレーションでは、参加者の中から6名の方にお手伝いいただき、その方々に子供役、発見者、準備係、管理者役、連絡係、記録係になっていただき、食物アレルギー症状が出た場面を設定し、食物アレルギーへの対応について体験しました。実際に自施設にいる園児や児童生徒を想定して行うことで、より実践的な演習ができました。また、考えられる様々なシチュエーションで実施し、互いにアドバイスし合うなど今後必要となる対応策なども確認できたようでした。

